

鯖江市教育委員会

2月定例会議事録

令和3年2月15日（月）

1 会議概要

- 日 時 令和3年2月15日(月) 午後2時53分開会
午後5時30分閉会
- 場 所 鯖江市役所4階第2委員会室
- 出席委員
辻川 教育長
笹本 教育長職務代理者 蓑輪 委員
中村 委員 柴田 委員
- 欠席委員
なし
- 出席説明員
福岡 事務部長 品川 健康福祉部長
高島 教育政策課長 木村 教育審議官
齋藤 生涯学習・スポーツ課長 西山 文化の館副館長
前田 文化課長兼まなべの館館長 田中 子育て支援課保育・幼児教育室長
瀬野 生涯学習・スポーツ課主幹
- 欠席説明員
なし
- 書記
木原 教育政策課参事
- 議事日程
 - (1) 開会の宣告 午後2時53分開会
 - (2) 会議録署名人の指名 蓑輪 委員 中村 委員
 - (3) 報告事項
 - (4) 議案
議案第2号 令和2年度鯖江市教育委員会3月補正予算要求の概要について 可決
議案第3号 令和3年度鯖江市教育委員会当初予算の概要について 可決
議案第4号 鯖江市公民館運営協議会の委嘱について 可決
 - (5) 教育長の報告
 - (6) その他
 - ① 令和3年度鯖江市教育委員会基本方針(素案)について
 - ② その他
 - ③ 次期開催予定について
3月定例教育委員会開催予定
日 時 3月19日(金) 午後3時
場 所 鯖江市役所 4階第2委員会室

(7) 閉会の宣告 午後5時30閉会

2 会議大要

(1) 報告事項

なし

(2) 議案審議

議案第2号 令和2年度鯖江市教育委員会3月補正予算要求の概要について

【説明】

教育審議官、生涯学習・スポーツ課長、文化課長が令和2年度鯖江市教育委員会3月補正予算要求の概要について説明

【質疑】

<委員>

史跡兜山古墳環境整備事業計画で、スロープの部分が設計変更となったが補助はあるのか。

<文化課長>

今回、減額した件は次年度で対応している。

<教育長>

議案第2号に異議はないか。

(異議なしの声)

<教育長>

異議なしと認め、議案第2号を承認こととする。

議案第3号 令和3年度鯖江市教育委員会当初予算要求の概要について

【説明】

教育政策課長、教育審議官が令和3年度鯖江市教育委員会当初予算要求の概要について説明

【質疑】

<委員>

小・中学校の特色ある学校づくり事業の増額の根拠は何か。

<教育審議官>

総合的な学習の時間推進事業と統合したことによる。

<委員>

統合し増額する事でメリットはあるのか。

<教育審議官>

似たような事業がいくつかあり、学校側から活用しにくいという声をいただいていたので1つにまとめた。

<委員>

新規でバス借り上げとあるが、特色ある学校づくりの中のバス借り上げと修学旅行バス増車借り上げ支援事業は違うのか。

<教育審議官>

修学旅行バス増車借り上げ支援事業は遠足や校外学習に限定してバスを借り上げる経費を助成するものである。

<委員>

総合的な学習の時間推進事業では助成しないのか。

<教育審議官>

学校が必要ならばバスの借り上げも可能である。

<委員>

奨学金にコロナの影響はあるのか。

<教育政策課長>

今年度、一般会計から奨学資金貸与基金への繰入金を30万とした理由は、現在基金の運用に余裕があるため、寄附金相当を繰り入れた。令和3年度予算で繰入金を100万としたのも、まだ運用に余裕があるためである。

<委員>

外国の子どもが年々増えてきている。学校の対応を教えてください。

<教育審議官>

ブラジル国籍の子どもについては、ポルトガル語が話せるアクセスワーカーをお願いしたいと考えている。

<教育長>

英語や他の言語を話せる方はいるのか。

<教育審議官>

英語は英語教諭がいるので対応できる。今後、他の言語についてもそういう状況が出てくれば対応していく。

<委員>

小学校、中学校の体育大好き委託事業の委託先はどこか。

<教育審議官>

総合型地域スポーツクラブである鯖江スポーツクラブに委託している。

<委員>

要・準要保護児童生徒援助事業費の予算を10%増額しているが、令和2年度の予算額2,500万円余に対し執行見込額が500万円である。10%増額している理由は何か。

<教育審議官>

執行見込額は年度途中ということもあるが、今年度申請する家庭が増えるのではないかと

と予想したが昨年と同様であった。しかし、コロナの影響が長期化しているため、予算としては多めに計上しておきたい。

<委員>

執行見込額506万2千円は1年分ではないのか。

<教育審議官>

給食費の無償化も影響している。

<教育長>

給食費の無償化による今年度の予算はいくらか

<教育審議官>

給食費の無償化について令和2年度の小学校費の予算は1,540万円を計上している。

<教育長>

給食費の無償化でその分がいらなかった事になるのか。

<委員>

給食費補助事業とあるがこれは何か。

<教育審議官>

給食費を2,500円補助するもので、要・準要保護家庭は補助費から執行予定である。

<委員>

要・準要保護児童生徒援助事業の対象となる家庭を教えてください。

<教育審議官>

国で定めた計算式により対象家庭を決定し支援している。

<委員>

自ら申請するのではないのか。

<教育審議官>

申請があった家庭を審査し決定している。

【説明】

生涯学習・スポーツ課長、文化の館副館長、文化課長、保育・幼児教育室長が令和3年度鯖江市教育委員会当初予算要求の概要について説明

【説明】

文化の館副館長、文化課長、保育・幼児教育室長が令和3年度鯖江市教育委員会当初予算要求の概要について説明

【質疑】

<委員>

鯖江を紹介する際に、歴史、文化、芸術の中に自然もありえるのかと思う。鯖江の自然遺産、財産を収集、集約していく事は大事ではないか。

<文化課長>

文化財保護法の中に動植物、鉱物、岩石等が含まれている。保護や活用の窓口は文化課でよいと思っている。

<委員>

展示スペースの常設は可能か。

<文化課長>

まなべの館にリニューアルする際に鳥の剥製コーナーをどうするか、まなべの協議会で審議した結果、撤去して新たに近松門左衛門の部屋にしたという経緯がある。ある程度時期がくれば展示内容の更新時期がくるので、そのタイミングで協議することになるが、我々もアンテナを張っているので、新たに展示室をリニューアルする形で自然科学の分野の展示、展示コーナーを設置するという事は可能であると考えている。

<委員>

学芸員の専門性もあると思うが、自然科学に脚光を浴びさせていただきたい。

<委員>

幼稚園管理諸経費の研修旅費の増減はどうか。どのように使われているのか。

<保育・幼児教育室長>

研修内容としては幼稚園の研究大会、全国大会、東海北陸大会の旅費等で例年どおり要求している。コロナ禍でリモート開催や研修を開催しない事もあるので予算の執行がなくなるかもしれないが、研修費は確保していきたい。

<委員>

研修の講師の謝礼はどこで執行するのか。

<保育・幼児教育室長>

幼稚園管理諸経費の報償費で執行する。他に校長会から支援いただきながら研究している。こういう幼稚園研究会がある。そういうものを活用しながら研修したいと思っている。

<教育長>

全体を通しての意見や質問等を伺いたい。

<委員>

令和3年度の予算総額は、だいぶ圧縮されているのか。

<教育長>

総額は令和3年度の場合は258億4千8百万円、昨年が268億4千万円という事で、おそらく今までで一番大きかった令和2年度の予算に比べると3.7%、9億9千2百万円が減額になっている。うち教育費は26億8千5百万円、全体の10.4%、およそ1割が教育費となっている。昨年の教育費は33億1千万円余、全体の12.3%に比べると6億2千5百万円余が減額になっているが、これは文化センター、文化の館の空調、公民館等のハード面での整備費が集中したことによるもので、ソフト面の大きな減額はない。令和3年度はシーリングで経常経費や政策的経費を減額する事からスタートした。

<委員>

来年度は各課や教育委員会全体の小計と合計を表記していただくとありがたい。

<教育長>

3月定例教育委員会時に教育委員会全体の予算総額と各課の予算額、財務政策課で作成している当初予算の概要、主要事業一覧表を委員に配布していただきたい。

<教育長>

議案第3号に異議はないか。

(異議なしの声)

<教育長>

異議なしと認め、議案第3号を承認することとする。

<教育長>

議案第4号「鯖江市公民館運営協議会の委嘱について」は人事案件となっているので、教育委員会会議規則第15条ただし書きの規定により秘密会としたい。異議はないか。

(異議なしの声)

<教育長>

異議なしと認め、議案第4号は秘密会とする。

(5) 教育長の報告

- ・全国学力学習調査について

(6) その他

- ① 令和3年度鯖江市教育委員会基本方針(素案)について

【質疑】

<委員>

学校教育、社会教育にも言えるが、人権教育の大切さをクローズアップしなければならない。人権についてはSDGsにもしっかり明記されていると思うので、今年1年で何をするか主張できる体制にして共通理解を図っておくことが極めて大事で、そうすることで「不登校」も「いじめ」も減らしていく。SNSについても家族や社会全体できちっと見守っていかなければならない。子どもたちもタブレット端末を家庭に持ち帰ると思うが、それを起爆剤に新しい教育が見えるので、学校教育では校長先生、生涯学習は各団体長、公民館長に対して令和3年度はこれやりますよと周知していただきたい。基本的には人を大事にしていくというのか全てだと思う。この基本方針は公民館長も見ているのか。

<生涯学習・スポーツ課長>

年度当初に館長会で説明し、各公民館も方針に基づき1年間の目標等を作って各事業を設定している。教育大綱の改訂時に中核施設の役割をはたしていく公民館を地域づくり、環境、地域福祉、防災等全ての市民生活に密接に関わり、地域住民との協働が必要な活動を含めたまちづくり活動を支援する場というところでの公民館のあり方を今一度認識をした上で、教育委員会だけではなくSDGsの取り組みを含めて市の様々な事業について、まちづくり、住民との接点としての公民館において市長部局と連携しながら一体となって取り組んでいきたい。その中に人権もあると思うしSDGsの取り組みについても誰一人

取り残さないという点において人にやさしい地域づくりに取り組んでいきたい。

<教育長>

今の意見を整理すると次回までに修正を加えざるを得ないと思うが。

<委員>

修正してくれと言う事ではなく、最低限これだけは皆で一緒にやりましょうよというものが一番いいとっていて、それが人権で何か提案していただけたらいい。

<委員>

教育委員会が頑張っていることに皆の共通理解があるといいと言う意味で受け取ったが。

<教育長>

私が校長や公民館長に方針を説明するときに、今年は特に人権教育に力をいれてやっていきますよと言うような事をメッセージとして伝えていけばいいのではないかと。

<委員>

そうすれば評価もしやすいし、具体的に何をどれだけ取り組んでいるのか把握しやすい。

<委員>

それが鯖江市の共通理解としてあれば、学校子ども達が公民館に行っても公民館の館長や職員がそういう視点で子ども達を育てる事に繋がっていく。

<教育長>

重点的に取り組んでほしい事を伝えて浸透させてほしいということで理解すればよいか。

<委員>

理解してもらって、その方向で具現化してもらおう。

<委員>

高齢者のやさしい図書館づくりについて、出張図書館の利用者数はどのくらいか。また、高齢者の読書について福祉バス事業との連携とあるが、なかなか出づらと思う。老人クラブ等の高齢者団体に前出張図書館を実施だが、公民館での図書館の貸出事業はどうか。

<文化の館副館長>

出張図書館の利用人数等の資料は今持ち合わせていないが、日頃図書館に足を運ばない高齢者の方々が本当に喜んでいる姿に、ぜひこの経験を活かしたいという職員の希望もあり老人団体、高齢者サロン等に出向き、本を200冊くらい持参して、そこでカード作りたい人がいればカードを作って貸出し返却する形でやっていきたいと思っている。

<委員>

ぜひ公民館、町内公民館での高齢者向けの図書館づくりに力を入れていただきたい。

<文化の館副館長>

長寿福祉課と協議しているが高齢者サロンは町内公民館単位で、希望に応じて読み聞かせ等も行っていきたい。老人クラブは規模が大きくなるが出来るだけ要望に添いたい。

<委員>

生涯学習振興基本方針の中に地区公民館を中心とした生涯学習やまちづくりの推進とあるが、その中に高齢者にやさしい図書館づくりの関係が連携として入っているとお互いに

協力しながら高齢者に感謝されるような読書推進ができるのではないかと。

〈生涯学習. スポーツ課〉

生涯学習. スポーツ課の事業として、その文言をいれるのはどうなのかと思っている。決して連携を取らない訳ではない。

〈委員〉

スポーツ振興の地域部活動推進事業だが、現在、休日の部活動はまだ地域に移行されていないのか。

〈教育審議官〉

まだ移行していないが、国も土日については地域に移行していきたいという方針を出しているので今後地域との連携を考えている。

〈委員〉

先生以外に部活動に関わっている人を調査して、例えば3中学校の部活動に対して先生以外に関わっている人数を把握して推奨していくことが、結果的には先生の待遇改善に繋がっていくという気がする。きちんと調べて来年度の計画に入れていくことが必要だと思う。

〈教育審議官〉

来年度、県とタイアップして3中学校の特定の部活動について、土日はスポーツクラブに移行する調査研究を予定している。それをきっかけに令和5年度から順次地域に移行できるものに関しては移行していきたいと考えている。

〈委員〉

運動部活動ということだと思うので、運動といれたほうがいいのではないかと。文化部の場合、書道、美術などは学校教育の部活動支援員の予算で賄うなどを考えていく必要がある。それが生涯学習課や文化課で講師を紹介してくれて事業が立ち上がったら別だが、そういう事も今後は考えていかないとだめなのではないかと。

〈教育審議官〉

文化部に関しても県が他の市町で似たような調査研究を行う予定で、本市も運動部活動と並行して将来的には地域の方に移行できる方策がないか考えたい。

〈委員〉

基本方針の中に新型コロナについて記載がある。他県で学校が貸し出している血中酸素を調査するものを鯖江市でも学校へ常備したらどうか。確か1台2,500円くらいだったと思う。学校へ常備してコロナを見つける道具として検討したらどうか。

〈教育長〉

医療的にきちんと確立されたものでないと学校の先生が戸惑うので、保健の先生とも十分に協議しないとイケない。研究する時間をいただいて、健康づくり課とも話をしたい。

では次回開催予定についてご説明をお願いします。

【次回開催予定等について】

- ② 次回開催予定等について案内：4月20日（火）午後3時から開催
- ③ 4～5月の行事予定について

議事録署名人 袁輪 進一

議事録署名人 中村 知恵